

斑点米カメムシ対策の徹底

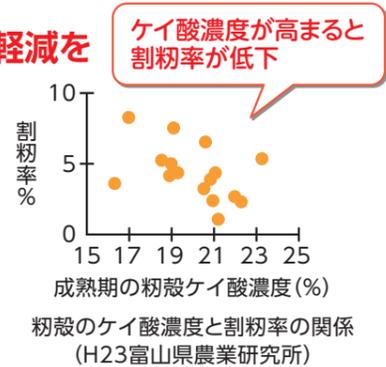
27年産米では、早生品種を中心にカメムシ被害による斑点米が多発。
斑点米の発生防止のため、対策の徹底を。

1 割初の発生軽減

- H27は、気象条件により、早生品種でカメムシ被害を受けやすい割初が多く発生
- **土づくりにケイ酸質資材を施用し、割初の発生の軽減を**



割初が多発と、カメムシが米を吸汁しやすくなる



2 カメムシの発生・増殖しにくい環境づくり

- 麦跡田や水田畦畔等の雑草の管理の徹底を
 - ① 麦跡田では、大豆、園芸作物、緑肥等の栽培で、**雑草の繁茂を抑制**
 - ② 畦畔等の雑草地は、**イネ科雑草の穂が出る前までに草刈り**を



アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



イネ科雑草

3 適正な防除の実施

- **防除効果の高い薬剤の使用を**
- 早生品種は、**穂揃期と傾穂期の2回防除の徹底を** (防除後もカメムシが多い場合は追加防除を)
- 防除間隔は7日間を目安に



信頼される「安全・安心」な米づくり

消費者に選ばれる安全な富山米を生産するため、「とやまGAP」に取り組ましましょう。

● 安全な米づくり

- 農薬・肥料の適正な使用や管理、生産履歴記帳など

● 環境の保全

- 廃棄物の適正処理、農薬散布後の1週間止水管理など



ほおぼる幸せ。富山米

今年も頑張ろう!

1等米比率
90%以上

27年産米の成果

- 1等米比率90.8% (18年ぶりに90%超)
- 作況指数103の「やや良」、10a当たり収量559kg (1955年の統計開始以来、最高)

[28年産の目標] 1等米比率90%以上

産地間競争に打ち勝つため、今年も、技術対策の徹底をお願いします!!

● 対策のポイント ●

- ① 5月15日中心の田植え
- ② 過剰な初数の防止
- ③ 稲体活力の維持



「元気な富山米ブランド」のための重点技術対策

～今年も、1等米比率90%以上～

1 5月15日中心の田植え

1 田植えは5月15日を中心に!

- 出穂後の高温を避けるため、田植えは5月15日を中心に実施

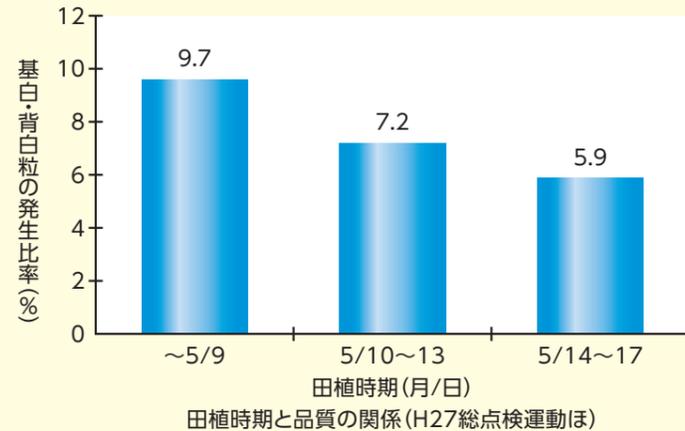
田植え日と出穂後20日間の平均気温(H27)

田植え日	出穂後20日間の平均気温(°C)
5/5	27.9
5/10	27.4
5/15	27.0

※富山地方気象台の平均気温データに基づく



出穂後の高温で発生する未熟粒



2 5月15日中心の田植えに合わせた播種・育苗計画を

- 苗の活力を維持するため、**播種は、あわてずに4月25日頃に**
- 4月下旬以降は気温が上昇し、苗が長くなりやすいので、**搬出直後から換気を**

育苗計画の目安

浸種日	播種日	田植日	出穂期
4/8頃	4/18頃	5/10	8/2頃
4/16頃	4/25頃	5/15	8/5頃
4/22頃	4/30頃	5/20	8/8頃

育苗期間中の温度管理の目安

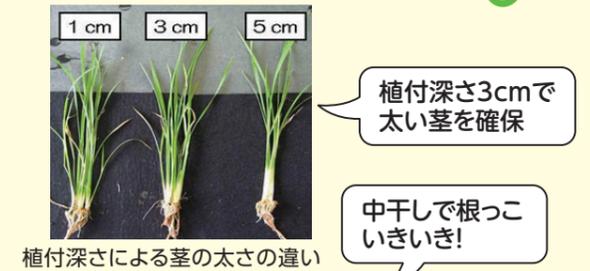
苗のステージ	出芽期	緑化期	硬化期
育苗日数	3日	2~3日	13~15日
温度 昼	30°C	25°C以下	



2 過剰な籾数の防止

1 田植え作業は適正に!

- **栽植密度70株、植付本数3~4本、植付深さ3cmの徹底**
- 土壌に応じた基肥窒素量の確保
砂壤土3.0~4.0kg/10a、
埴壤土1.8~2.6kg/10a



2 溝掘り・中干しの徹底を!

- **中干しは田植え後1か月頃に遅れずに**
- 中干し前には**確実に溝掘り**しましょう



3 稲体活力の維持

1 こまめな水管理を!

- 幼穂形成期以降は**飽水管理**
- 出穂後20日間は**湛水管理**
- 刈取り5~7日前までは**間断かん水**



2 穂揃期の葉色を4.2~4.5 (砂壤土は4.5)に誘導

- 肥効調節型基肥栽培でも、葉色が薄い場合は**追加穂肥**を

